

て来た、「作文」や「5W3H」、「小論文」と、子供たちが学んでいる「エッセー・ライティング」との違いに気づいていないケースがあります。

ひとつには「エッセー」と言う言葉の理解にもその謎は潜んでいます。

日本で我々がよく知る「エッセー」は、意見や感想を自由な形式で述べる散文形式が殆どです。

即ち、インターナショナルスクールや、北米の現地校で子供たちが学んでいる5つのパラグラフで構成された5パラグラフ・エッセーは、我々日本人にとってはなじみの薄い「書く技術」と言えるのではないのでしょうか。

指導者の重要性

さて、明德義塾がエッセー・ライティングの指導を選択授業としてスタートさせるにあたり、最大の問題は指導者の人選であったことは容易に想像頂ける事と思います。

国語の先生にお願いすべきか、英語の先生にお願いすべきか、そのどちらでもないのか。

この問題を考えるとき、エッセー・ライティング指導の目的に立ち返る事が重要である事は言うまでもありません。

「読む」「考える」「発表する」だけでなく最終的に「論理的に相手を説得する事の出来る力」まで持ってゆく為の指導力はその教科の教員が持ち合わせているのでしょうか。

幸いにも我校では英語のネイティブの指導者の中にエッセー・ライティングの指導者を見出す事が可能でした。

更に、国内外で帰国子女並びに大学生を対象としたエッセー・ライティングの指導に実績があり、日本語で基礎からエッセー・ライティングの指導を行うと同時に英語でも指導が出来るエッセー・ライティング専任の日本人指導者を外部から招く事が出来たのです。

生徒の反応

「脳にしわが増えた感じがする」、「初めはまわりの目が気になって意見が言えなかった」、「文章のフォーマットが決まっているのでそれに従って書くのは便利」、「昔インター校で学んでいた事を思い出してきた」、「文章が書けるようになってきた」など、生徒達が初めは戸惑いながらも徐々にエッセー・ライティングの授業に引き込まれていくのが手に取るように分かりました。

答えの無い問いに取り組むエッセー・ライティングの授業は、常に答えのある問いに取り組んできた日本の学生にとっては戸惑い以外のなにものでもありませんが、インターナショナルスクールや、北米の現地校でその洗礼を受けて来ている生徒にとっては、自らが身に付けきた力を更に伸ばす場として、馴染みのある授業として受け入れられました。

エッセー・ライティングの授業は「読む」「考える」「発表する」指導を通じ最終的には論理的に相手を説得する事の出来る技術を身に付けさせる事をその大きな目的としています。そのため発表された主張について論理性は求められますが、主張の善悪や正誤は授業の中では評価の対象とはなりません。

授業に参加している生徒と指導者は互いに人と異なる意見を尊重する事を前提として授業を進めていきます。そして人とは異なる意見を論理的に人に説明して行くための手法としてエッセー・ライティングの技術を学びます。

今後の取組

エッセー・ライティングの指導に対する取り組みは、当初インターナショナルスクールや、北米の現地校からの帰国生の持つ「読む」「考える」「発表する」力の保持・伸長を目的としてスタートしました。

然しながら、過去のエッセー・ライティングの学習歴にとらわれる事無く取り組むべき価値のある教育であると感じています。

現在、明德義塾ではエッセー・ライティングの指導を高校特進コースI・IIに在籍している生徒を対象として行っていますが、学んでいる生徒は多様で、中国・韓国・インドネシア・フィリピン・北米で教育を受けてきた生徒達も含まれます。

国籍や学習歴に関係なく、勉強（学問）をする上においての基盤となる、「読む」「考える」「発表する」力を育む事を目的とし、今後もエッセー・ライティングの指導に取り組んで行きたいと考えます。

追伸

エッセー・ライティング専任の日本人指導者とはINFOE代表の松本輝彦先生です。松本先生、今後ともエッセー・ライティングのご指導よろしくお願いします。



北米の現地校からの留学生

明德義塾中学校・高等学校

〒785-0195 高知県須崎市浦ノ内下中山 160

TEL : 088-856-1211 (代) FAX : 088-856-3214

HP : www.meitoku-gijuku.ed.jp E-mail : info@meitoku-gijuku.ed.jp



そうです、私が週1回のエッセイ・クラスを教えています。日本にいる時は高知に出張し対面授業、それ以外はインターネットを活用。日本人6名、留学生6名の高校3年生にアメリカ式のエッセイやプレゼンテーションの指導をし、大学受験を応援しています。

海外生が身につける「宝」を、日本の生徒に教えるという、私の長年の夢の実現です。楽しんでいます！ そのうち、詳細な報告を。